

5. 平成 28 年度 大阪高体連柔道部運営の重要事項について(その1)

委員長 酒匂 義浩

平成28年度大阪高体連柔道部年間行事運営は、大会毎に各学校に対して参加依頼を送りません。年度始めに、各学校に配布するこの部報および大阪高体連ホームページ(<http://highschool.osakajudo.info>)によってすべて運営しますので、部報・HPの内容を熟読の上、大会要項に従って参加申込みをして下さい。尚、従来の書面での申込に加え、インターネットでの申込も並行して行いますのでご協力お願いいたします。

本年度高体連主催の大会は、全国大会予選、大阪総体、新人大会の3大会（定時制・通信制課程は2大会）です。今まで各大会に参加する意志を持ちながら、申込み遅れや抽選会不参加などの理由で参加できなかった学校があります。下記の重要事項について十分留意の上、大会に参加して下さい。

①国体選手の選考について

国民体育大会大阪府少年男女柔道予選会の優勝者を常任委員会において国体選手として決定し、大阪府柔道連盟に推薦する。

②年間行事の参加依頼は部報内に年間行事として掲載してあるので、必ず学校長に提出しておくこと。

③大会は部報内の要項に則って実施する。（大会毎の要項は送付しない。）

④申込日時を厳守すること。

申込書の郵送は必ず書留とし、〇〇大会申込書在中と明記すること
(通送便での申込みは不可)。尚、持参の場合は封書で提出のこと。

インターネットでの申込に関して、不明な点は下記まで問い合わせること。

大阪府立八尾翠翔高等学校 072-943-8107 山本和広

⑤抽選会、開会式等に遅刻したチーム又は選手は、適格であっても大会出場を認めない。

⑥引率責任者（顧問）は必ず当該校の職員であること。

⑦当該校の顧問が監督になるのが望ましいが、当該校の校長が認める指導者を監督（コーチも含む）とすることが出来る。外部指導員を起用する時は、傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険）等に必ず加入することを条件とする。

⑧引率責任者（顧問）のいない学校は大会参加を認めない。（統廃合校の合併チームにおいても各校の付添いが必要。）顧問の付添いができない場合は、その学校の職員が付添うこと。また、受付の際も顧問が申し出る。

⑨顧問又は監督教員を偽って試合を行なった場合、その事が明らかとなった時点で当該試合を負けとし、事後1カ年間出場を停止する。

⑩監督の行為・言動について

試合が進行している最中に指示を出すことや立ち上がること、対戦相手や自身の選手を侮辱する言動に対しては、罰則が与えられる。

⑪スポーツマンシップに反したり、高校生としての名誉を汚す言動のあったチームに対しては、常任委員会の議を経て相当の期間出場を停止することがある。

- ⑫大阪府柔道連盟昇段試合の公認点となる大会は下記通り。(公認点の再発行は行わない)
- イ. 第65回全国大会大阪府予選会(団体戦)
 - ロ. 第71回(平成28年度)大阪高等学校総合体育大会柔道の部(団体戦)
 - ハ. 第66回大阪高等学校定時制・通信制体育大会柔道の部(団体戦)
 - ニ. 第66回大阪高等学校新人柔道大会(女子団体戦)
- ※段外者の公認点は発行しない。
- ⑬大会申込書に医師の所見は必要ないが、健康管理については十分留意すること。
- ⑭「脳しんとう」に関する扱いについて
- イ. 大会1ヶ月以内に脳しんとうを受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ロ. 大会中脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。また、当該選手の指導者は大会本部(委員長)に報告すること。
尚、至急専門医(脳神経外科)の精査を受けること。
 - ニ. 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け許可を得ること。
- ⑮皮膚真菌症(トングランス感染症)について
- 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行なうこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が判明した場合は、大会に出場できない場合もある。
- ⑯法定伝染病感染者等の扱いについて
- 選手変更については、各大会の実施要項における参加上の注意のとおりであるが、法定伝染病その他天災による場合はこれを適用しない。
但し、当該事項が発生した場合、速やかに監督・顧問が委員長に報告すること。
- ⑰柔道衣について
- 大会に出場する選手は、男女とも国際柔道連盟試合審判規定に適した柔道衣を着用すること。但し、胸及び袖の校名等は例外とする。
柔道衣検査は、選手が試合場に入る前に自身の責任のもとで、会場に準備している「柔道衣測定器」で自身の柔道衣の大きさを確認しなければならない。
試合開始後に、柔道衣の大きさに関して疑義が出た場合は、その場で検査を行い規定違反であれば「反則負け」となる。
- ⑱台風接近等による暴風警報発令時の取り扱いについて
- 大阪府内のいずれかの地域に「暴風」警報が発令され、
- イ. 試合の場合
午前7時の時点で発令中の場合は、その日の試合は中止とする。
 - ロ. 抽選会の場合
正午の時点で発令中の場合は、抽選会を中止とし、常任委員会の責任抽選とする。
(参加料、墨書メンバー表は試合当日の受付時に顧問が持参すること)
- なお、試合が中止の場合、その後の対応(中止あるいは順延日時など)については、大阪高体連柔道部のHPに掲示するので各校で必ず確認すること。

平成 28 年度 大阪高体連柔道部運営の重要事項について(その2)

1. 大会参加料

(1) 内訳

- ・ 全国大会大阪府予選
 - 男子団体 3,000 円
 - 女子団体 2,000 円
 - 男子・女子個人 一人 500 円
- ・ 大阪高等学校女子柔道体重別選手権大会 一人 500 円
- ・ 大阪高等学校総合体育大会柔道の部
 - 男子団体Ⅰ部 3,000 円
 - 男子団体Ⅱ部 2,000 円
 - 男子個人 一人 500 円
- ・ 大阪高等学校新人柔道大会
 - 男子団体 3,000 円
 - 女子団体 2,000 円
 - 男子・女子個人 一人 500 円

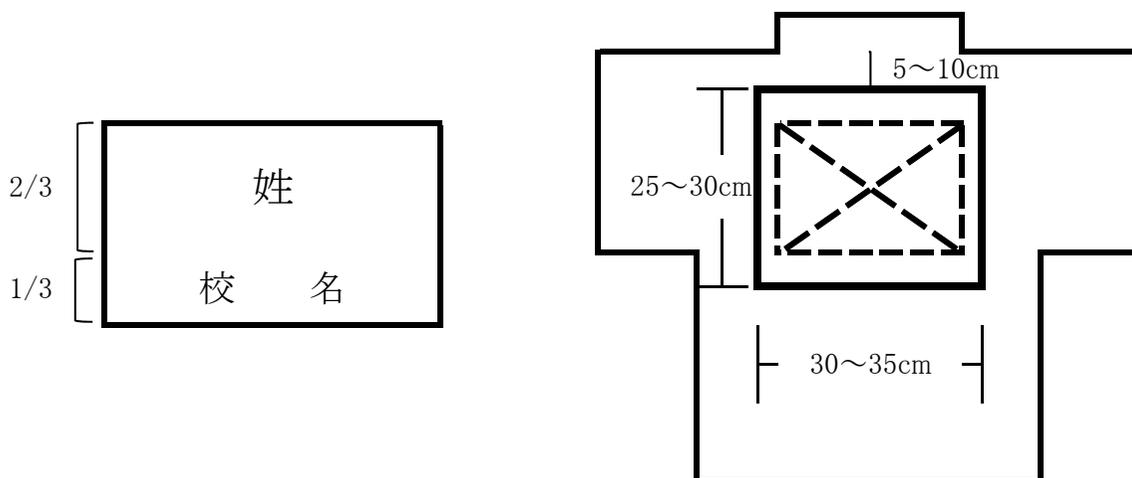
(2) 徴収方法

- ・ 各大会とも団体戦抽選時に徴収
 - ・ 個人戦のみ出場する学校は、大会当日徴収
- ※怪我や計量失格等で大会棄権、不参加の場合も徴収する。**
※大会当日の棄権等で返金はしない。

2. ゼッケンについて

大会に出場する選手は、下記の要項にしたがってゼッケンを各校(各個人)で用意をし、柔道衣の背中に縫い付けて出場すること。

- (1) 布地は晒太綾(さらしふとあや)を使用すること。
- (2) サイズは縦25cm～30cm、横30cm～35cm、襟から5cm～10cmとする。
- (3) 姓は上側 2/3、校名は下側 1/3の部分に、横書きで男子は黒字、女子は赤字で書くこと。
- (4) 縫い付け方法については、下記の図を参照すること。 ※強い糸で縫いつけること。



3. 女子のTシャツについて

女子の試合者は、上衣の下に次の何れかを着用しなければならない。

- (1) 相当な丈夫さがあり、下穿きの中に入る長さのある、白色の半袖で無地の Tシャツ
(襟なし・柔道衣を着た状態で見えないワンポイントは可)
- (2) 白色の半袖のレオタード(襟なし)

※重ね着は禁止

4. スパッツについて

スパッツの着用については、男女とも膝上までのものに限る